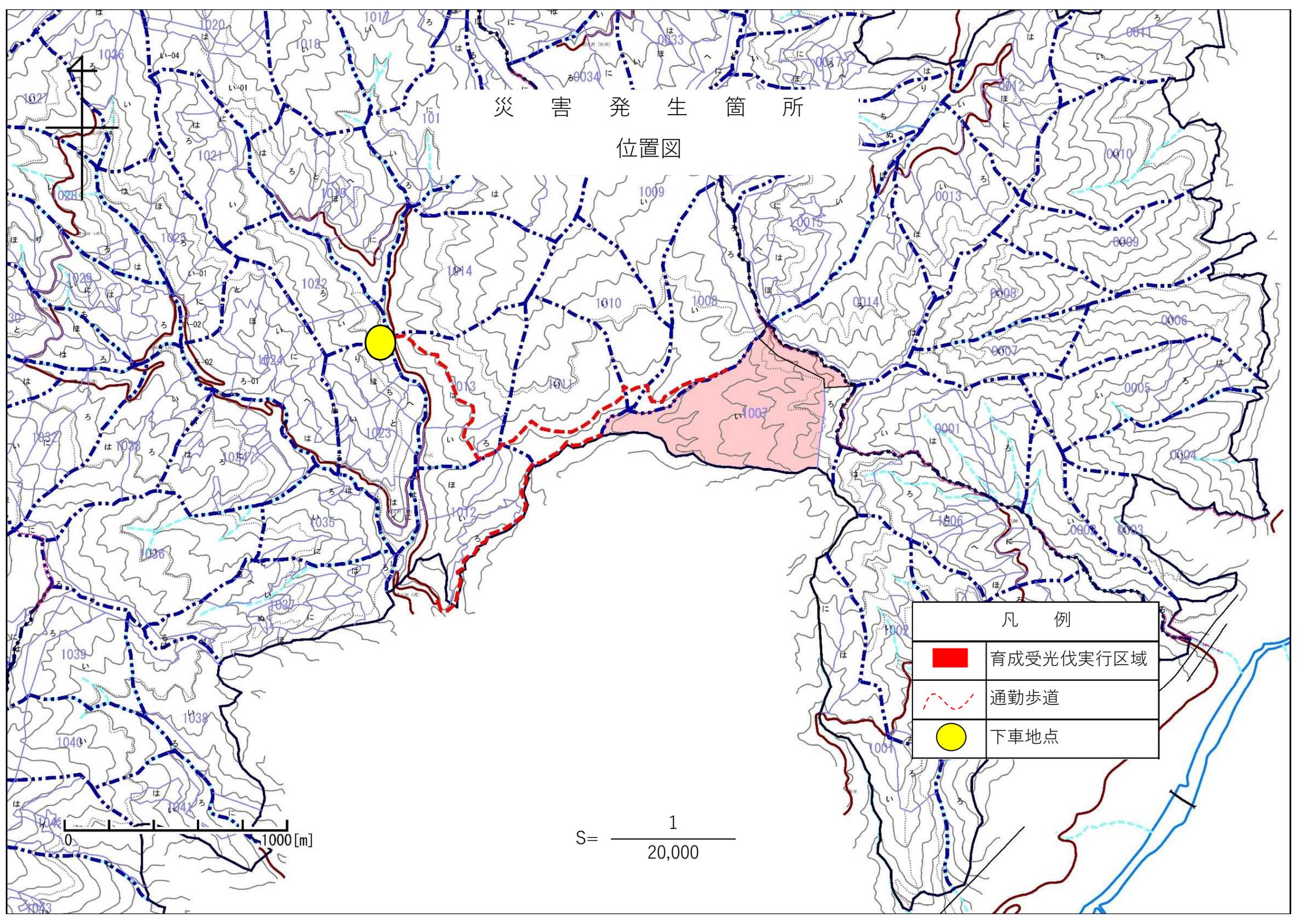


請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

1 署 等 名	中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署
2 事業の種類	請負事業 森林環境保全整備事業(育成受光伐 南木曾4殿へリ)
3 災害発生日時等	令和3年 7月 3日(土) 13時 00分頃発生 怪我の程度: 肋骨骨折(ご家族からの情報) 休業見込み: 不明
4 災害発生場所	長野県木曾郡大桑村 阿寺国有林 1007林班 い 小班
5 契約相手方	有限会社 今井木材
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	年齢: 40才 性別: 男 事業の経験年数: 3ヶ月 雇用区分: 常雇 社会保険等加入状況: 労災、雇用、健康、厚生、林退
8 従事作業	枝払い作業
9 災害概況	<p>当日被災者は、7時00分頃、同僚8名と二ノ沢林道歩道入り口にてミーティングを実施した後、9名で先山伐倒に従事した。被災者は経験が浅いため、同僚A(現場代理人)と共に作業に従事し、他の7名はそれぞれ分かれて作業を行っていた。</p> <p>13時00分頃被災者は林地傾斜約35度の斜面で同僚Aが伐倒したヒノキA(胸高直径36cm、樹高19m)の枝払い作業を、下方に向かって左側に位置し、部分的に枝を20~30cm程残し作業を進め、梢端部を切り落とした後、先に伐倒してあるホオノキ(胸高直径26cm、樹高18m)の枝がヒノキAの枝払いに邪魔であったことから伐ったところ、ヒノキAが下方に3m程滑り、枝払い途中の枝(元径6cm、長さ20cm程残した枝)が背中左側に激突し被災した。</p> <p>身動きが取れない被災者が無線で助けを求めたところ、60m程離れた箇所まで作業していた同僚Aとこの近くで作業していた同僚Bが駆けつけ、枝を切除し被災者を救出した。無線を聞いた同僚Cが携帯の電波が通じる箇所まで移動し、13時20分頃会社へ災害発生の連絡を行ない、連絡を受けた専務が救急隊に救助を要請した。</p> <p>(※枝払い中に動き出したヒノキAは元口から約5mのところヒノキB(胸高直径48cm、樹高21m)の上に乗っていることで滑り易い状態であったが、ホオノキの枝で止まっていたと考えられ、3m程度滑り出したと推測される。)</p> <p>14時00分頃救助隊が救急車で歩道入り口に到着、同時刻に防災ヘリが現地へ向かう旨の連絡があり、救助隊は被災現場へ向かった。15時10分防災ヘリが現地に到着し、救助を開始、15時30分救助が完了し、15時55分信州大学医学部付属病院に到着した。</p>
10 その他特記すべき事項	被災者は、現在観察入院中で診断書は出されていない。(歩行は出来る模様) 7月3日(土)、今井木材から支署総括森林整備官へ災害発生連絡 7月4日(日)社内安全対策会議を実施。

災害発生箇所

位置図

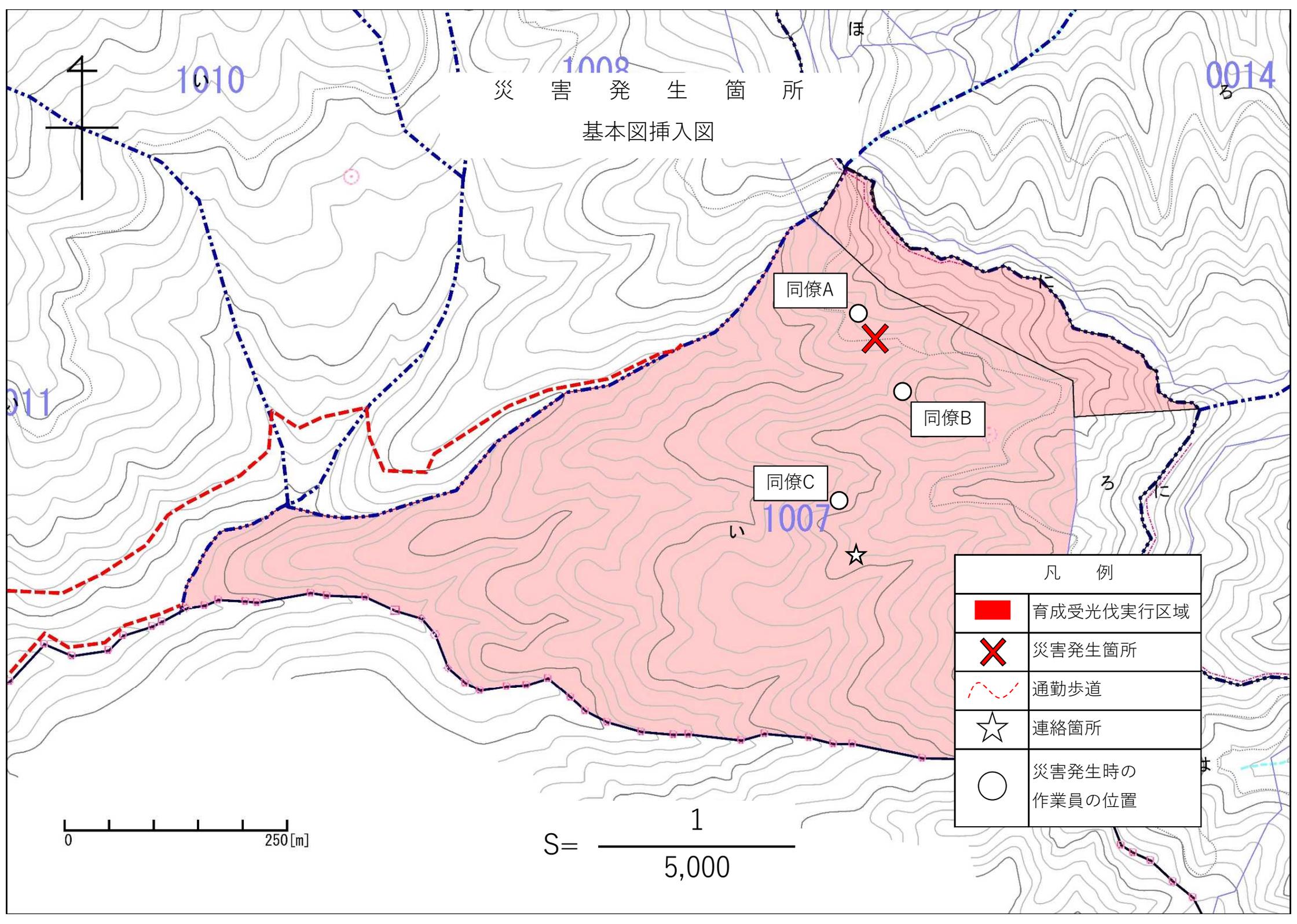


凡例

	育成受光伐実行区域
	通勤歩道
	下車地点

S = $\frac{1}{20,000}$

0 1000 [m]



災害発生箇所

基本図挿入図

同僚A

同僚B

同僚C

凡 例	
	育成受光伐実行区域
	災害発生箇所
	通勤歩道
	連絡箇所
	災害発生時の 作業員の位置

0 250[m]

S= 1 5,000

災害現況見取り図

